

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	港区立児童発達支援センターぱお		
○保護者評価実施期間	令和7年11月4日		～ 令和7年12月5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	223名	(回答者数) 152名
○従業者評価実施期間	令和7年11月4日		～ 令和7年12月5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 29
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月19日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多くのお子さんが児童発達支援を楽しく利用しているという回答を多くいただきました。	お子さんが楽しんで取り組めるよう、職員一人一人が考えて活動や課題を工夫しています。	引き続き、丁寧なアセスメントのもと、ねらいを明確にして、楽しみながら主体的に取り組める活動を考えてまいります。
2	各職種によるフォーマルなアセスメントの他、生活の様子の観察や聞き取りなどによるインフォーマルなアセスメントも丁寧に実施しております。	それぞれの職種の強みを活かし、専門性を高められるよう、定期的に研修を実施するとともに、外部研修の参加による研鑽を推進しております。	引き続き、専門性を高められるよう、研修費の助成や内部研修の充実を図ってまいります。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	さらに、民間の児童発達支援事業所や相談支援事業所との連携を広げていけるとよいと考えます。	民間の利用の手続きが煩雑かつ時間もかかり、わかりづらいため、丁寧に情報を提供していく必要があると思われます。 センターとして、中核機能の充実を図るために、研修や見学会の見直しや拡大を行っています。	民間の事業所向けの研修や見学会などの実施や港区障害児通所支援事業所連絡会の参加など引き続き、地域の施設と顔の見える関係を築いてまいります。 また、利用者が適切なタイミングで必要なサービスを利用しやすいよう、相談に丁寧に応じてまいります。
2	さらに保護者支援の充実を図れるとよいと考えます。	支援の時間が限られている中で、法内の事業に係る事務手続きが多くあり、保護者支援に充分時間が取れないことがあります。 保護者勉強会のテーマや開催時期・時間帯などの見直しを図っています。	事務手続きについては別の時間で来所頂くなどして、保護者支援の時間の確保に努めます。 保護者勉強会について、引き続き内容や開催方法などを見直していきます。
3			